

守山まるごと活性化計画 速野学区 第5回会議

1. 実施概要

学区・回	速野学区 第5回
日時	2013年11月17日(日) 19:30~11:30
会場	速野会館
参加者	住民17人(開発2人、大曲2人、木浜2人、材・ベランダ守山2人、美崎3人 北川NT2人、今浜0人、水保1人、中野1人、中野小林2人) 濱崎先生 守山市(高谷、今井、西藤、坪内、吉原) 地域未来研究所(田淵、小野田、奥村)
会場設営	前半は自由席。後半は4テーブルを配置、重点プロジェクト毎に希望するテーブルに着席
実施経過	<p>1. 挨拶</p> <p>①開会挨拶(坪内課長補佐)</p> <p>②開会挨拶(山岡学区長)</p> <p>2. 説明と重点プロジェクトの投票およびまちづくりテーマ案の選択</p> <p>①本日のプログラム内容(田淵)</p> <p>②第4回検討結果の説明(田淵)</p> <p>③プロジェクトの絞り込みとまちづくりテーマ案の選択(投票)</p> <p>■選択された「重点プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> → ①速野まるごとエコミュージアムプロジェクト → ②守山の北の玄関おもてなしプロジェクト → ③びわこ地球市民の森いきいきプロジェクト → ④大川周辺の自然環境保全&環境学習推進プロジェクト → ⑤みんなで考えよう速野の未来プロジェクト → ⑥いにしへの文化を見つめなおし守ろうプロジェクト → ⑦安心・安全にらせるまちプロジェクト(⑤に統合) <p>■選択された「まちづくりのテーマ」</p> <ul style="list-style-type: none"> → 事務局案にあげられている「守山の北の玄関」「エコミュージアム」の2つのキーワードを含み、かつ「進取の精神…」という意味合いを示すテーマを再考。表現しきれなければサブタイトルを入れる。 <p>3. 重点プロジェクトの掘り下げと実現化方策についての意見交換(テーブル別ワーク)</p> <p>【主な意見】</p>

■守山の北の玄関おもてなしプロジェクト

- ・守山の北の玄関口として、よいイメージを抱かせることが重要。「ようこそ守山へ」といったゲートや看板があるといい。
- ・県や市の遊休地、既存の遊休施設をうまく活用すること、またその仕組みづくりが必要。
- ・来訪者へのもてなしありきでなく、まず地域の産業・文化の活性化が重要。その先におもてなしがある。
- ・北の玄関としてのまちづくりだけでなく、エコ・ミュージアムプロジェクトなどと連携し、全てを包括して取り組むべき。

■速野まるごとエコミュージアムプロジェクト

- ・パンフ等の作成にあたっては、学区内にある自然を体感できる様々な場所の中からどこを選定するかが課題。その際には四季を意識することが大事で、どの季節になにがあるかを念頭において作成する。
- ・パンフの素材の選定、回遊ルートなどの検討は地域のできるので、アイデアを各自治会で持ち寄る。
- ・統一したデザインの案内標識や説明看板の設置、花のネットワーク、サイクリングロードとつながる回遊ルートの整備、これらの話し合いのきっかけづくりは行政にやってほしい。

■びわこ地球市民の森いきいきプロジェクト

- ・新たなイベントを興すのではなく、既存行事をベースに内容を見直し、プラスアルファできないかを考える。その中で若い人が実行委員会から参画できるような組織の見直し、根回しが必要。
- ・事業主体が県であり、地元の意見が反映されないまま整備が進んでいる状況のため、日常的な管理がなされておらず、却って危険箇所が増えている。基本的な管理は県の役割だが、日常的な管理（トイレ清掃、草刈り等）は地域にまかせてほしい。
- ・小学校のグラウンドでやっている学区民のつどいを地球市民の森で実施したい。

■大川周辺の自然環境保全&環境学習推進プロジェクト

- ・水を流す方法を継続的に検討しているところだが、実現にはハード整備が必要である。標識や回廊整備などのハード面とあわせて、行政の支援をお願いしたい。
- ・環境学習プログラムには、美崎公園も活用できそう。
- ・花のネットワークとして、菜の花やコスモスのほか、美崎の桜並木もある。また県道今浜水保線の道ののり面を活用できそう。これらをサイクリングロードとして整備できるとよい。

■みんなで考えよう速野の未来プロジェクト

- ・新旧の自治会間で温度差が大きい。旧自治会では暗黙のルールで仕方なく役についているのが現状。
- ・人づくりはお金で解決できない。若い人（30～40代）のリーダー育成が大切だが、育ちにくい環境であるのが現状。研修など様々な方法がある。
- ・「まるごと活性化プラン」の推進を目的として、新たな組織づくりを進めるが、現在ある生涯学習組織の充実、拡充を図ることで進めてゆく。組織づくりの中で、具体的なリーダー育成の方向性がみえてくるのではないか。

■安心・安全にらせるまちプロジェクト

- ・これは、新しいまちづくりの活動テーマとして取り組む項目である。
- ・まずは「みんなで考えよう速野の未来プロジェクト」の中で組織づくりを考えることが重要で、特に学区全体でまとまる組織が必要。

■いにしへの文化を見つめなおし守ろうプロジェクト

- ・地域の歴史を、見つめ、守り、継承する流れが重要である。
- ・学区内各所の歴史・文化資源を発見し、それらをわかりやすいかたちで示し、映像など後世に残るかたちでの保全、保存するという流れが重要。
- ・北の玄関プロジェクトと連携し、拠点施設などで速野の歴史に触れる場をつくれないか。
- ・歴史教育の対象は子どもだけでなく、大人でも速野の歴史を知らない人は多い。

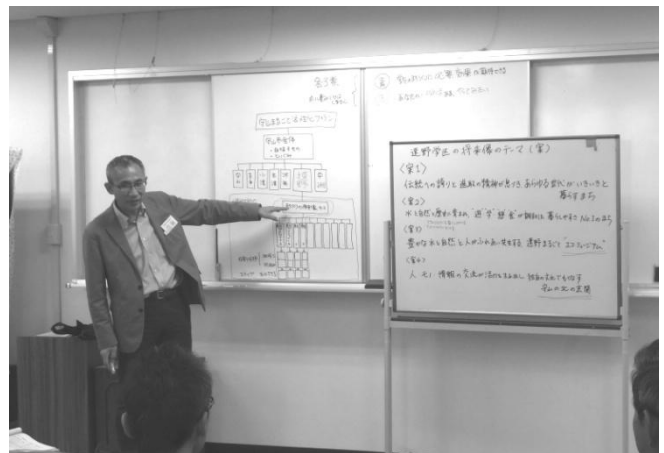
4. 結果の発表・共有

- ・テーブル毎に参加者の代表が学区の重点プロジェクトの取組や役割分担について協議内容を発表し、共有化した。

5. その他

- ・学区別会議は今回で一旦終了。12月～1月頃に全体会議・活性化プラン（素案）の完成。2月頃に活性化プラン（素案）を地域で説明。3月に活性化プランの完成という予定で進めることとなった。

第5回速野学区会議の様子



2. 第5回学区会議の意見まとめ

速野学区のまちづくりのテーマおよび重点プロジェクトの投票結果、検討内容をまとめた。

<速野学区のまちづくりのテーマの検討結果>

- ① 伝統への誇りと進取の精神が息づき、あらゆる世代がいきいきと暮らすまち
- ② 水と自然と歴史に育まれ、“遊”“学”“憩”“食”が調和した暮らしやすさNo.1のまち
- ③ 豊かな水と自然と人がふれあい共生する、速野まるごと“エコ・ミュージアム”
- ④ 人、モノ、情報の交流が活力を生みだし、独自の文化でもてなす守山の北の玄関

○上記4案それぞれに速野を特徴づけるキーワードや理念が含まれているため、投票による絞り込みは行わなかった。

○「守山の北の玄関」「エコ・ミュージアム」の2つのキーワードと、「進取の精神」の理念を含んだテーマを事務局で再検討することとなった。（「進取」は親しみやすい言葉に置き換え）

<重点プロジェクトの投票結果>

プロジェクト名	投票結果（票数）			採否
	必要性	興味	合計	
① 守山の北の玄関おもてなしプロジェクト	11	14	25	○
② 速野まるごと”エコ・ミュージアム”プロジェクト	11	14	25	○
③ びわこ地球市民の森いきいきプロジェクト	12	10	22	○
④ 大川周辺の自然環境保全&環境学習推進プロジェクト	12	9	21	○
⑤ みんなで考えよう速野の未来プロジェクト	8	7	15	○
⑥ 木浜内湖周辺で水に親しみ楽しむ環境整備プロジェクト	4	2	6	
⑦ いにしへの文化を見つめなおし守ろうプロジェクト	3	3	6	○
⑧ まちなかに水のうるおい復活プロジェクト	3	2	5	
⑨ 速野の「うまいもん」を広めようプロジェクト	1	3	4	
⑩ 地域 みんなで集い盛り上がろうプロジェクト	1	1	2	
⑪ 安全・安心にくらせるまちプロジェクト	0	1	1	○

※投票は、各人「地域のまちづくりに必要と思われるもの」3票、「自分自身に興味があり取り組んでみたいもの」3票の合計6票を持ち、各プロジェクトに投票してもらった。（一つのプロジェクトに複数投票可）

○上位5件とそれ以下の点数差が大きいため、上位5件は重点プロジェクトに採択された。

○上位5件の中に歴史・文化に関するものがないという理由で、7位の「いにしへの文化を見つめなおし守ろうプロジェクト」も重点プロジェクトに追加採択された。

○「安心・安全にくらせるまちプロジェクト」は最も得票が少ないが、「みんなで考えよう速野の未来プロジェクト」の中に含めることができるため、⑤に統合するかたちで採択された。

これらを重点プロジェクト化

⑤に含めるかたちで採択

2.1 速野学区のまちづくりプロジェクトに対する個別意見・実施に向けての役割分担など

プロジェクト名	取組	意見
①守山の北の玄関おもてなしプロジェクト	<p>■取組 1 幹線道路沿いに情報発信拠点を整備（道の駅など）</p> <p>■取組 2 速野の住民が守山市を代表する情報発信の担い手に</p>	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●玄関口に相応しい「ようこそ守山へ」といったゲートや看板があるといい ●活用できそうな県有地や市有地が残っている ●ピエリのショッピングセンターとしての魅力向上を図る ●ラフォーレやピエリを活用し、地域の産品などを販売する ●佐川美術館などの既存施設のPRを工夫する ●地元の産業・文化の活性化がまず先で、もてなしはその後についてくるものである ●北の玄関としてのまちづくりだけでなく、エコ・ミュージアムプロジェクトなど全てを包括した取組が必要。マップづくりなど。 <p>【役割分担】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元でできること <ul style="list-style-type: none"> ・地域から発信できる情報を集める（エコ・ミュージアムプロジェクト、いにしえの歴史プロジェクトなどとの連携） ●行政等にサポートを求めること <ul style="list-style-type: none"> ・玄関口に相応しいゲートや看板などの設置 ・遊休地や遊休施設を、情報発信の拠点として活用できる仕組みづくり、関連するハード整備
②速野まるごと”エコ・ミュージアム”プロジェクト	<p>■取組 1 速野エコミュージアムマップ・パンフレットの作成</p> <p>■取組 2 速野エコミュージアム回遊ルートの形成</p>	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学区内で自然を体感できる場所の選定が課題 ●四季を意識することが大事。どの季節になにがあるかを念頭においてパンフ等を作成 ●自然を体験できるプログラムが必要 ●まず、回遊ルートづくりからやってみてはどうか ●ルートを考えてゆく中で、この部分の整備がもっと必要といったアイデア出てくる

プロジェクト名	取組	意見
	<p>■取組 3 環境学習を指導、実践する地域の組織、人材づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●案内標識や説明看板は学区全体でのデザインの統一性が重要 ●花のネットワーク、サイクリングロードともつなげられる ●学習の場として美崎公園などを活用できる ●回遊ルートなどの検討は地域でできるかも。アイデアを各自治会で持ち寄る ●話し合いのきっかけを行政につくってほしい <p>【役割分担】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元でできること <ul style="list-style-type: none"> ・自然、四季を体感できる場所の選定 ・回遊ルートの検討を各自治会レベルで行う ●行政等にサポートを求めること <ul style="list-style-type: none"> ・案内標識や看板の整備 ・回遊ルート検討などの話し合いのきっかけづくり
<p>③びわこ地球市民の森いきいきプロジェクト</p>	<p>■取組 1 学区住民の日常的な楽しみと安らぎの場づくり</p> <p>■取組 2 学区住民の相互交流の場づくり</p> <p>■取組 3 他地域からの来訪者を呼び込むイベント開催</p>	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業主体が県であり、地元の意見が反映されないまま整備が進んでいる ●日常的な管理がなされておらず、却って危険箇所が増えている状況 ●グラウンドゴルフ場の管理を、特定の自治会だけでやっている ●基本的な管理は県の役割だが、日常的な管理（トイレ清掃、草刈り等）は地域にまかせてほしい ●小学校のグラウンドでやっている学区民のつどいを地球市民の森で実施したい ●里の森ゾーンを活用して、地域の行事を行いたい ●地域で活用するには、地域が入れる仕組みをつくるのが先決 ●守山という地名なのに市内に「山」がないので、シンボルになるような山を地球市民の森につくってはどうか ●人に来てもらうには、子どもが親しんでくれるような魅力づくりが必要 <p>【役割分担】</p>

プロジェクト名	取組	意見
		<p>●地元でできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球市民の森の活用のしかたを考える（行事の開催など） ・清掃や草刈りなど日常的な保全・管理行動を地域が請け負う ・集客イベント等における運営ボランティアとしての参加 <p>●行政等にサポートを求めること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性向上のためのハード整備 ・日常的な保全や管理に地域が入れるような仕組みづくり ・上記について、市が県と地域の間に入って欲しい
<p>④大川周辺の自然環境保全&環境学習推進プロジェクト</p>	<p>■取組1 大川の水質改善と周辺の自然環境改善</p> <p>■取組2 大川と周辺の自然を利用した環境学習プログラムの作成</p> <p>■取組3 大川と周辺の花のネットワーク形成</p>	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水を流す方法を継続的に検討しているところだが、実現にはハード整備が必要 ●標識や回廊整備などのハード面は行政の支援をお願いしたい ●環境学習プログラムには、美崎公園も活用できそう ●花のネットワーク…菜の花やコスモスのほか、美崎の桜並木もある…サイクリングロードとして整備できるとよい ●県道今浜水保線の道ののり面を活用できそう（のり面を花で覆う） ●各自治会でエリアを定めたり、独自の展開も期待できる ●人は結構呼び込める <p>【役割分担】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元でできること ・日常的な草刈りなどの保全活動 ●行政等にサポートを求めること ・水流の復活 ・案内標識や回遊ルート、回廊、サイクリングコースなどのハード整備
<p>⑤みんなで考えよう速野の未来プロジェクト</p>	<p>■取組1 学区全体のまちづくり組織の構築と次代のリ</p>	<p>【意見】(⑤について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●若い人（30～40台）がリーダーとして育ちにくい環境にある

プロジェクト名	取組	意見
(⑩安全・安心にさせるまちプロジェクト)	<p>リーダー育成 (⑤)</p> <p>■取組 2 先駆の精神を継承しつつみんなで考える将来ビジョン (⑤)</p> <p>■取組 3 高齢者の活動・活躍の場づくり (⑩)</p> <p>■取組 4 地域の安全・安心創出活動 (⑩)</p> <p>■取組 5 子どもも高齢者も安心して外出できる環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新旧の自治会間で温度差が大きい。旧自治会では暗黙のルールで仕方なく役についている ●リーダーとしての意識づけが必要 ●新しい自治会でのリーダー育成が重要 ●人づくりはお金で解決できない。若い人 (30~40 代) のリーダー育成が大切で、研修など様々な方法がある ●本プランの推進を目的として、新たな組織づくりを進める…現在の生涯学習組織の充実、拡充 ●組織づくりを検討する中で、具体的なリーダー育成の方向性がみえてくるのではないか <p>【意見】 (⑩について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●これは、新しいまちづくりの活動テーマとして取り組む項目である ●まずは組織づくりを考えることが重要で、特に学区全体でまとまる組織が必要 <p>【役割分担】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元でできること <p>・「まるごと活性化プラン」の実現に向けた学区内の組織づくり</p>
⑦いにしえの文化を見つめなおし守ろうプロジェクト	<p>■取組 1 歴史的たからものの再発見&PR</p> <p>■取組 2 歴史の語り部の発掘と活躍の場の創出</p> <p>■取組 3 地域の子どもたちへの歴史教育</p>	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の歴史を、見つめ、守り、継承する流れが重要 ●<見つめる>…学区内各所の歴史・文化資源の発見 地名と速野のおこりをみんなに知ってもらう。日本一の景色を知ってもらう。各家にある写真や映像を持ち寄る。古文書等の安全な保管 ●<守る>…知る、つくる 自分の地域を町史にまとめる。誇れる数字に示す (〇〇日本一)。道標、案内看板の設置。学区民のつどいなどで地域の歴史を公表し知ってもらう。 ●<継承する>…展開、活用する DVDライブラリにする。ユーチューブに映像をアップする。「北の玄関口」の施設で

プロジェクト名	取組	意見
		<p>公開する→新しい文化の創出、100年先まで残す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●比較的あたらしい歴史資源もある…木浜の火葬場、新田、琵琶湖大橋の渡り初めの記録、ネオ・ヴェラヴィータの造成時の記録など ●北の玄関口の拠点施設などで、速野の歴史資源を公開する ●歴史教育の対象は子どもだけでなく、大人でも速野の歴史を知らない人は多い <p>【役割分担】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地元でできること <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史資源を地域のみinnで探し出す ・各家にある写真や映像を持ち寄る ・町史のまとめに自治会毎に取り組む ●行政等にサポートを求めること <ul style="list-style-type: none"> ・古文書などの安全な維持管理 ・史跡への案内看板や道標の設置